

平成29年11月16日

輪之内中学校保護者様

輪之内町立輪之内中学校
校長 香田 静夫

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえた学力向上の取組について（お知らせ）

保護者の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、本校では、生徒一人一人に「確かな学力」を育成することを学校経営の重点の一つに掲げ、仲間と学び合いながら、学習したことが身に付く授業づくりを目指して指導方法の工夫改善に取り組んできました。この度、その一環として本調査の結果分析を行い、今後の「指導改善の方向」を取りまとめましたので以下にお知らせします。引き続き、本校の学力向上の取組に御支援いただきますようお願い申し上げます。なお、本調査が国語と数学に限られていることや、ペーパーテストだけでは把握することが難しい学力もあることなど、調査結果から分かる学力の実態は限定的であることについて御承知願います。

1 調査の内容について（対象学年：第3学年、実施期日：平成29年4月18日）

（1）教科に関する調査

○〔主として「知識」〕…国語A、数学A

- ・身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり、常に活用できるようにしておくことが望ましい「知識・技能」など。

○〔主として「活用」〕…国語B、数学B

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力など。

（2）生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 教科に関する調査について

（1）結果分析について

- 国語A・B、数学A・Bの平均正答率については、いずれも県平均と同程度で、全国平均を上回る結果であった。

国語

- ・「必要な情報を集めるための見通しをもつ力」や「話の論理的な構成や展開などに注意して聞く力」を問う問題の正答率は、県及び全国平均を大きく上回った。
- ・「集めた材料を整理して文章を構成する力」や「目的に応じて資料を効果的に活用して話す力」を問う問題の正答率は、県及び全国平均を上回った。
- ・「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する力」や「相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す力」を問う問題の正答率は、県及び全国平均をやや下回った。

数学

- ・「2つの図形の間接関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明する力」や「資料から必要な情報を適切に読み取る力」を問う問題の正答率は、県及び全国平均を大きく上回った。
- ・「証明した事柄を用いて、新たな性質を見いだす力」を問う問題の正答率は、県及び全国平均を上回った。
- ・「数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理する力」や「事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明する力」を問う問題の正答率は、県及び全国平均を下回った。

（2）指導改善のポイント

- これらの調査結果を踏まえると、例えば、「話や文章の内容を読み取って理解すること」や「話したり書いたりして、相手に分かりやすく伝えること」及び「問題解決の方法を数学的に説明すること」などに課題があり、引き続き各教科の授業において、内容を正しく捉え、問題を考察して解決の仕方を分かりやすく説明するといった学習活動を工夫する必要がある。

(3) 具体的な指導改善の手立てについて

《学習規律の確立》

① 話すこと、聞くことの指導

- ・仲間と学び合う学習ができるよう、「最後まで黙って聞き切ること」「自分の考えと聞き比べること」「意見の異同を聞き分けること」「話の要点を聞きまとめること」の徹底に継続して取り組む。

② 生徒主体の学習規律向上の取組

- ・生徒会の学習委員会や学級の学習班の活動に「学習規律の向上」を位置付け、生徒が自分たちの授業を自分たちの力でよりよいものにしようとする主体的な取組を行っていく。

《授業改善の充実》

① 授業の「導入」の工夫

- ・前時までの生徒の実態を把握し、本時の授業に活かすようにするとともに、「知りたい、分かってほしい」という思いを引き出すよう、具体的な教材を提示して既習内容との違いや新たな問題意識、目指す姿への憧れなどを抱くことができるようにする。

② 追究意欲をもって取り組む「学習活動」の工夫

- ・課題解決に向けた見通しを確かめ、一人一人が自らの方法で解決に取り組めるようにする。
- ・ねらいの達成に結びつく効果的な学習活動を工夫するとともに、学習カルテ(個人の学習状況を記録したもの)を用いるなどして一人一人の学習状況を見届ける。
- ・仲間との交流活動を位置付け、言語活動(発表、説明、報告、討議、まとめ等)を工夫する。

③ 手応えが実感できる「終末」の工夫

- ・学習したことを練習したり、授業のまとめを話したり書いたりするなど、確かめの場を設定する。
- ・一人一人の習得状況を見届けるとともに、個別の支援をするなどして習得の徹底を図る。

(4) 家庭学習の徹底

- ・これまでと同様に、「ひとりだち」(生活記録)と「自主学習」を毎日提出できるようにするとともに、学習内容に応じた家庭学習の方法を指導・助言する。例えば、定期テストや実力テストの誤答処理を確実に行うこと、各教科のワークは答え合わせをしてできなかったところをできるようにすることなど、学習したことを復習し、その定着を図る。
- ・家庭学習として、予習や復習を自主学習ノートに1ページ以上行うことを継続する。特に、テレビやゲーム等の使用時間を親子で約束するなどして1日2時間程度の学習時間を確保し、努力していることについては認めたり励ましたりしてもらうよう、各家庭に協力をお願いする。

3 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査について

(1) 結果について

- ・以下には、質問項目のうち、結果が顕著なものを取り上げて記載した。数値は「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」と回答した生徒の割合。○付きの番号は、県及び全国平均を上回ったもの。

No.	質問項目	輪中(%)	岐阜県(%)	全国(%)
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。	93.5	94.9	94.7
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。	63.5	69.7	71.0
6	自分にはよいところがあると思う。	65.6	71.8	70.7
⑩	将来の夢や目標を持っている。	71.0	68.7	70.5
⑳	学校に行くのは楽しいと思う。	85.0	80.5	80.9
④⑩	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	85.0	84.2	80.4
41	先生は、間違えたところなど、分かるまで教えてくれるか。	72.0	79.3	75.5
④⑤	地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。	96.8	83.2	70.6
51	学校の規則を守っている。	94.7	95.8	95.2
54	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	92.5	93.3	92.8
55	人の役に立つ人間になりたいと思う。	92.5	92.8	91.9
74	読書が好き。	46.2	70.1	69.9

(2) 結果分析について

- ・地域行事やボランティア活動への参加については、県及び全国平均を大きく上回っており、学校・家庭・地域が連携して郷土への愛着や貢献意欲を高めることに取り組んできた成果として受け止められる。
- ・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」や「自分にはよいところがあると思う」については、県及び全国平均を下回っており、生徒の自己肯定感を高める指導が必要である。そのため、教職員が一人一人のことを認め、励ますことを大切にするとともに、各自が持ち味を發揮し、学習活動や生徒会活動、部活動、社会活動等に積極的に参加する中で自己実現を図っていきけるよう支援していく。